

第4号様式（第8条関係）

議 事 録（案）

会議名	令和元年度 第2回寒川町環境審議会		
日 時	令和元年8月21日（水）午後2時00分～5時00分	開催形態	公開
場 所	寒川町役場 東分庁舎2階 第1会議室		
出席者名 欠席者名 及び 傍聴者数	<p>【出席委員】 河合委員、中沢委員、大津委員、清田委員、初鹿委員 佐藤委員、平本委員、片谷委員、坂本委員、若松委員</p> <p>【事務局】 環境経済部：大川部長 環境課：小林課長、椎野主査、榊原主事補</p> <p>【欠席委員】 木村委員、皆川委員、沖本委員、宇條委員</p> <p>【傍聴者】 なし</p>		
議 題	<p>(1) 平成30年度版寒川町環境報告書(案)について</p> <p>(2) その他</p>		
決定事項			
議 事	<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 議事録承認委員の選出：大津委員、清田委員</p> <p>4 議 題</p> <p>(1) 平成30年度版寒川町環境報告書（案）について</p> <p>片谷会長より、今回の進行方法については、前回の環境審議会において、各委員より提案された意見を反映した環境報告書（案）の修正内容を各章ごとに説明し、質疑も各章ごとに受け付けることとした。</p> <p><3. 平成30年度 さむかわの環境の概要> P5～P19</p> <p>事務局より修正した箇所の内容の説明を行い、ページの修正等について次のとおり依頼した。</p> <p>P15、「ごみの排出量の抑制、再利用・リサイクルの促進」の1、2行目が、平成29年度の内容のままになっているので、「ごみの総排出量は、可燃ごみ（主に家庭からのもの）を始め、全種類のごみの量</p>		

が減少して」に修正。

※質疑応答

(河合委員) P16、「食品廃棄物の排出割合のグラフ」を乗せた意図とは。

(事務局) 昨今、食品ロスが問題となっているためグラフを掲載した。

(河合委員) 調理くず等が割合の大部分を占めているが、これは何なのか。

(片谷会長) 食材から切り落とした葉や皮などを集めるとこのくらいの割合になるということではないか。

(事務局) そのとおり、食材の調理方法によっては、減らせるゴミがあるということ。

(平本委員) これらの割合をどのように出しているのか。

(片谷会長) 抜取調査をしているということではないか。

(事務局) そのとおり。※に記載がある。

(河合委員) 平成29年度に掲載しているグラフから変えた理由とその趣旨を記載すべき。

(片谷会長) 町民にグラフの意図することと、そこから見えてくる課題について、本文に記載するように。食品ロスも大きな問題ではあるが、実際には調理の際に出た調理くず等の割合が大きい。

(事務局) 修正する。

(大津委員) 「食品廃棄物の排出割合」と「食品廃棄物の排出割合」の円グラフだが、町のごみ総排出量のグラフは数値で〇〇〇tで記載しているのに対し、円グラフはパーセントの記載である。グラフどうしの関係性やごみ排出量の規模感も分かりにくい。町民に分かりやすいよう概算で構わないので、〇〇〇tと記載した方が良いのではないか。

(片谷会長) 推定で構わないので、数値〇〇〇tと記載した方が良い。

(事務局) 修正する。

(若松委員) P10、表中のコミュニティバスの利用実績について、本文にコメントが全くない、利用者数が増加しているので、それに対するコメントを記載すべき。

(片谷会長) そのとおり。本文にスペースを捻出して、利用者増加に関するコメントを記載すべき。

(事務局) 修正する。

(若松委員) P13、「悪臭防止対策」のところ、下の2つのグラフを見ると公害苦情件数は、平成29年度と横ばいで、野焼

	<p>き(屋外燃焼行為)の件数は減っている。そのように記載すべきで、現在の文章であると、公害苦情件数が減っているような表現に感じる。</p> <p>(事務局) 修正する。</p> <p>(若松委員) P15、「ごみ発生の抑制」のところで、平成30年9月4日に神奈川県は「プラごみゼロ宣言」をしている。そこには今後市町村に展開すると明記している。町民に知らせる必要があり、町としての取組みも求められている。</p> <p>(事務局) 現時点で寒川町は、「プラごみゼロ宣言」に賛同をしたという段階、具体的施策についてはまだないので、検討していかなくてはならないことを記載する。</p> <p>(片谷会長) 平成30年度に県から宣言があったので、町としても「今後取組んでいく必要がある」というような記載が良いのではないか。</p> <p>(事務局) 修正する。</p> <p>(若松委員) P17、「省エネルギーの推進」の3行目、平成30年度の報告書なので、「平成25年度から平成27年度」の言葉はいらない。「省エネルギーの取り組みとして、町役場庁舎や各小学校(主に体育館)～LED照明の導入が完了した」というような文章の方が良い。</p> <p>また、LEDにして抑えられた消費電力の効果を記載した方が良い。LED照明の消費電力に導入台数をかけて、さらに使用時間と使用日数をかければ出せるのではないか。絶対ではないが乗せた方が良いのではないかと思う。例えば、32Wで2灯のHf蛍光灯64Wが、LED照明に替えれば26.5Wとなる。</p> <p>(片谷会長) 電気使用量は、LED照明の導入によって減ったとしても、エアコンの導入により増加することもある。「平成25年度より」電気使用量削減に取り組んだ経緯は書き残しておく方が良い。</p> <p>(河合委員) エアコンによって増加した電気使用量と、LED照明による削減量の両方を示せれば分かりやすい。</p> <p>(片谷会長) LED照明の導入により削減できた電気使用量を数値で記載出来たら記載した方が良いが、エアコンによる電気使用量の増加と、LED照明による減少を明確に分けるデータは持っていないのではないか。そうであれば、若松委員の示した例のようにLED照明による削減効果の例を記載すること、また、それによる効果が表れているというような記載をするべき。</p> <p>(事務局) 修正する。</p> <p>(若松委員) P18、「町公共施設電気料金の推移のグラフ」における</p>
--	--

※の注釈で「上記電気料金の削減効果には、PPS（特定規模電力事業者）との電力需給契約に係る一般競争入札による減額分も含まれています。」とあるが、その削減効果とは。

(事務局) 電気料金の推移では、PPS（特定規模事業者）との需給契約に係る一般競争入札結果によって電気料金の単価が変わるので、電気使用量の年度単位の増減に、電気料金の増減が必ずしも比例しないという意味。

(片谷会長) 正直に、「毎年入札を行うので、電気料金の減額分が電気使用量の減少分と一致しない」と書くべき。または「PPSによる電気料金の減額にも取り組んでいるが、単年度の契約の為、必ずしも消費電力量の増減と一致しない」とも書ける。無駄な税金を使っていないことはアピールできる。

(河合委員) 電気料金のグラフはいらぬのでは。

(清田委員) 公金を使っているのだから、町民にとって電気使用量より電気料金の方が重要であり、必要である。

(事務局) 「電気料金の推移のグラフ」は引続き掲載し、PPSの文言は修正する。

(若松委員) P18、「太陽光発電導入件数のグラフ」実施していないならいらぬのではないか。同じ数字で推移しているように感じてしまう。ダイオキシン類の測定等と同様に「補助事業休止」とするべき。

(事務局) 修正する。

(若松委員) P19、「町役場の電気使用量・二酸化炭素排出量のグラフ」の下※に「公用車のガソリン使用量等による二酸化炭素排出量も含まれています。」とあるが、ここに公用車のガソリン使用量等による二酸化炭素排出量を記載するべき。

(片谷会長) ※の注釈の最後に、平成30年度のガソリンの使用量に対する二酸化炭素の排出量を記載するべき。

(事務局) 修正する。

(若松委員) 町の電気自動車の保有台数は何台か。

(事務局) 2台。うち1台を日産から貸与してもらっている。

(若松委員) 一番古い電気自動車はいつ導入したのか。

(事務局) 平成21年度に導入した。

(清田委員) 一種のキャンペーンのような形で、藤沢市や茅ヶ崎市と同時に導入した。

<4. 第2次寒川町環境基本計画 総括評価> P20

事務局より修正した箇所の内容の説明を行った。(7. 「環境指標」

及び「施策の取組」の点検・評価、及び9.重点プロジェクトの点検・評価で詳細を説明するため、ここでは質疑応答なし)

<5. 第2次寒川町環境基本計画 体系と評価> P21~P28

事務局より修正した箇所の内容の説明を行い、ページの修正等について次のとおり依頼した。

P27、環境指標の「一人1日当たりのごみ排出量」と「リサイクル率(総資源化量/総排出量)」、「焼却灰発生量」の評価を↑に修正。

(7.「環境指標」及び「施策の取組」の点検・評価で詳細を説明するため、ここでは質疑応答なし)

<6. 基本目標の評価(環境指標の目標と実績)> P29~P33

事務局より修正した箇所の内容の説明を行った。

(7.「環境指標」及び「施策の取組」の点検・評価で詳細を説明するため、ここでは質疑応答なし)

<7.「環境指標」及び「施策の取組」の点検・評価>

<基本目標1 【参加と協働】環境の保全と創造に積極的に取り組む暮らし> P34~P40

事務局より修正した箇所の内容の説明を行った。

※質疑応答

(片谷会長) 枠内の上下の余白が広かったり狭かったりしているが何か意図があるのか。

(事務局) 余白を大きくした影響で、ページが変わり表が切れたりして、見にくくならないようにするため、余白の広狭がある。

(片谷会長) 承知した。それならば現状のままでよい。

(河合委員) 「施策の概要」に対し、「取り組み状況と今後の方向性」について、例えば、「施策の概要」に5つの項目があれば、「取組状況と今後の方向性」も5つの項目となるかと思っているのだが、項目の数が対応していないのが気になる。

(片谷会長) 分けやすいところと分けにくいところがあるので、統

一するのは難しいので、現状維持で良い。

(事務局) 承知した。

(坂本副会長) 「ゴミ」と「ごみ」の2つ表現があるので、「ごみ」で統一すべき。

(事務局) 修正する。

(片谷会長) 環境省は平仮名で「ごみ」としているのでそれに倣うように。

(事務局) 承知した。

<基本目標2 【自然環境】自然を守り、育てるまち> P41～P45

事務局より修正した箇所の内容の説明を行った。

※質疑応答

(片谷会長) P41、「基本目標に対する評価の説明」の上2項目だけ「ですます調」になっている。「～である調」に統一すべき。

(事務局) 修正する。

(大津委員) P42、「取り組み状況と今後の方向性」の『川の自然調べ(鳥類調査)』と『昆虫調査』にのみ「①、②」と数字で項目が分けられている。どういう意味があるのか。数字に対応するリンク先等があるのか

(事務局) 他の取組とリンクしていたり、特別な意味はない。

(片谷会長) ここだけ数字が出てくるのは、他と見比べてアンバランスなので、統一するように。

(事務局) 修正する。

(若松委員) P41. 42の取り組み状況と今後の方向性で、「平成27年度に保存樹林・樹木の調査をさむかわエコネットにご協力いただいて実施した。今後は時期を見て調査を実施し保全に努める。」と書いてあるが、いつ調査を実施するのか。

(清田委員) 昔はこれに補助金があったが、今はない。予算的な裏付けは何もない。

(河合委員) 補助金が出ていた時は、申請があったから、チェックを行っていた。

(事務局) 確認する。

(河合委員) 目標に掲げていて、実数を把握していないのは、おかしいから、早急に調査を行った方が良いのでは。

(片谷会長) 「予算的に可能になった場合、調査を実施する」などと記載するのはどうか。

(若松委員) 調査する時期がいつか分からないのは良くない。「で

きるだけ早急に」とした方が良いのではないか。
(片谷会長) 「できるだけ早急に」とすべき。
(事務局) 承知した。

<基本目標3 【生活環境】健康で安心して暮らせるまち> P46~P53

事務局より修正した箇所の内容の説明を行い、ページの修正等について次のとおり依頼した。

P53、取組状況と今後の方向性の4つ目、「ハスモンヨウトウ」とあるが、正しくは「ハスモンヨトウ」。

※質疑応答

(若松委員) P53、取組み状況と今後の方向性の3つ目、県政総合センターとの合同立入調査を16件も行っているが、実際にダイオキシン類の調査を16件、行っているのか。

(事務局) 県と合同で立入調査を行った合計件数が16件である。

(坂本副会長) ダイオキシン類のみではなく、有害化学物質を含めた調査件数ではないか。

(事務局) そのとおり。

(若松委員) 私も県にいたので、寒川町におけるダイオキシン類の調査対象が16件もあったのかと疑問に思った。

(片谷会長) 施策の体系が「有害化学物質の排出防止」という大項目になっており、そのうちの一部がダイオキシン類である。「ダイオキシン類と有害化学物質の調査を合わせて16件」と記載すべき。

(事務局) 修正する。

(大津委員) 「ダイオキシン」と「ダイオキシン類」の2つの記載があるが両者に違いはあるか。

(片谷会長) 本来は「ダイオキシン類」である。こちらに統一した方が良い。

(事務局) 修正する。

<基本目標4 【都市環境】緑や文化を大切にする快適で安全なまち> P54~P63

事務局より修正した箇所の内容の説明を行い、ページの修正等について次のとおり依頼した。

P54、取組み状況と今後の方向性の3つ目、「樹木の剪定やの」と

なっているため、「の」の削除を依頼。

P57、取り組み状況と今後の方向性の下から3つ目、「協同事業」を「協働事業」に修正を依頼。

※質疑応答

(若松委員) P62、取り組み状況と今後の方向性の3つ目、「湘南地域県政総合センターとの合同立入調査～(12件)」とあるが、P53と件数が違う。

(事務局) 内容を確認し、件数に間違いがあれば修正する。

(若松委員) P62は「湘南地域県政総合センターとの合同立入調査」と記載があり、P53は「湘南地域県政総合センターとの県合同立入調査」となっている。「県」を削除するように。

(事務局) 修正する。

<基本目標5 【資源・エネルギー、地球環境】エネルギー・水・ものを大切にした地球環境にやさしいまち> P64～P71

事務局より修正した箇所の内容の説明を行った。

※質疑応答

(片谷会長) P64、基本目標に対する評価の説明で、「H29年度に比べ一人当たりのごみの排出量は10g減少」とあるが、左のH29の数値を見ると783gであるから6g減少ではないか。

(事務局) 左の数値はH29年度の目標達成であり、実績は787g。

(片谷会長) 承知した。

(事務局) 紛らわしいので、基本目標に対する評価の説明に、H29年度の実績を追記する。

(片谷会長) リサイクル率と焼却灰の発生量についても同じことがいえるので、H29年度の実績を追記するように。

(事務局) 承知した。

(若松委員) P64、取り組み状況と今後の方向性の1つ目に、記載のあるキエーロの平成30年度の販売台数はどれくらいなのか。

(清田委員) キエーロの販売累計台数も分かるのか。

(片谷会長) 平成30年度の販売台数と、今までの販売累計台数を、記載した方が良い。(寒川町の概要にも)

(事務局) データはあるので、調べて追記する。

(若松委員) P68、取り組み状況と今後の方向性の6つ目と7つ目、まず7つ目に導入した設備による省エネ効果について記載されているが、これは6つ目にある省エネタイプの空調機に更新した結果なのか。

(事務局) そのとおり。

(河合委員) であるなら、6つ目と7つ目を1つの項目にし、それによる省エネ効果の数値を記載した方が分かりやすい。

(片谷会長) または「平成28年度と平成30年度の電気使用量の差は省エネタイプの空調機を導入したためだ。」と記載しても良い。

(事務局) 修正する。

(河合委員) P68、69、担当課の書き方が、各施設管理担当課（各課）、環境課（各課）となっており、このページだけ他のページと違う。その意図は何なのか。

(事務局) 平成24年度に策定した環境基本計画でこのように表記した経緯を調べ、修正があれば行う。

(大津委員) P63、取り組み状況と今後の方向性の一番下、「具体的事例はなし」とあるが、施策の実施方針は「○」となっている。どう解釈すればよいのか。

(片谷会長) 施策を実施するという目標は掲げているが、具体的事例は発生しなかったという意味では。

(事務局) そのとおり。

(大津委員) 承知した。

(大津委員) 基本目標の(1)環境指標の下の※の後期のすべてが「※後期H30～H32」となっている。「※後期H30～R2」と修正すべき。

(事務局) 修正する。

<8. 重点プロジェクトの評価（総括）> P72～P73

事務局より修正した箇所の内容の説明を行った。（9. 重点プロジェクトの点検・評価で詳細を説明するため、ここでは質疑応答なし）

<9. 重点プロジェクトの点検・評価> P74～84

事務局より修正した箇所の内容の説明を行い、ページの修正等について次のとおり依頼した。

P74、取組状況、今後の方向性及び予算への反映方針の一番下、「25年度以降は町の測定を行っていない」とあるが、その1行目にあるとおり、下水道課では測定を行っている。内容が矛盾するため、「25年度以降は環境課では測定を行っていない」に修正を依頼。

P81、取組状況、今後の方向性及び予算への反映方針の【教育施設・給食課（公民館）】の記載で、上から2つ目、前回に修正をお願いした箇所が修正されていない。正しくは「町民センター誘導灯の一部にLED照明を導入した」と修正を依頼。

P84、取組状況と今後の方向性及び予算への反映方針で、上から2つ目が平成29年度の内容になっているため、「2月の他の事業においてエコバッグを配布し啓発に努め、アイドリングストップとノーカーデーについては広報12月号で周知した。」と修正を依頼。

※質疑応答

（中沢委員） P79、取り組み状況と今後の方向性及び予算への反映方針の一番下、「寒川広域リサイクルセンターにおいて～資源ごみ分別に係る実施研修を行い」とあるが、誰を対象に行ったのか。

（事務局） 職員を対象に行った。

（中沢委員） 何名の職員が研修を受けたのか。

（事務局） 確認する。➡確認の結果、10名と判明した。

（河合委員） P74、重点施策、後期が「H32」となっている。「R2」に修正するように。

（事務局） 修正する。

（片谷会長） 同じ記載誤りがないよう全体に検索をかけて確認するように。

（事務局） 承知した。

（若松委員） 町の管理するCO₂排出量は、電気とガソリンの使用量をもとに計算していると記載があったが、ガスは使用していないのか。

（事務局） 都市ガスを使用している。その他に軽油も使用しており、CO₂の総排出量にはこれらも含まれている。CO₂の総排出量に占める割合は、電気が圧倒的に多い。

（河合委員） P81、取り組み状況と今後の方向性及び予算への反映方針の2つ目、緑のカーテンの平成30年度のコメントが「概ね順調に成育した」とあるが、成育が目的ではなくて、成育した結果どのような効果があったのかを記載すべき。

（片谷会長） 「日差しを遮る効果があった。」等の表現に修正するように。

（事務局） 修正する。

（片谷会長） 今回の環境審議会での意見を踏まえ、環境報告書の修正作業を行うこととなるが、新たに修正意見があった

	<p>場合は、今月の30日までに事務局に報告をお願いしたい。その修正意見を含めて環境報告書を修正し、再度各委員に書面にて、内容を確認していただくこととなる。なお、毎回、お願いしていることであるが、その後の最終確認については、会長及び副会長に一任でよろしいか。</p> <p>(各委員) 異議なし。 (片谷会長) それでは、各委員に了解していただけたこととする。</p> <p>(2) その他</p> <p>(事務局) 現行の第2次環境基本計画が令和2年度で終了するため、事務局では令和2年度からはじまる、新たな環境基本計画の策定の準備を進めている。策定の取り組みは来年度から本格的に動く形となるが、その第1歩として、町民のニーズや課題の把握のために、町民や事業者等へのアンケートの実施を考えている。内容としては平成23年度に実施した前回のアンケートをベースに新たな内容を加えて作成していきたいと考えている。なお、インターネットを活用したWEBアンケートの実施も併せて検討している。今後、アンケートの事務局案を作成し、後日、書面にて各委員に確認をいただく形でよろしいか。</p> <p>(各委員) 異議なし。</p> <p>5. 閉会 坂本副会長あいさつ</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度 第2回 寒川町環境審議会次第 ・ 寒川町環境審議会委員名簿 (任期: R元. 7. 1~R3. 6. 30) ・ 平成30年度版寒川町環境報告書 (案)
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	<p style="text-align: center;">大津 陽男 清田 昭夫</p> <p style="text-align: right;">令和元年9月26日 (木) 確定</p>